

議案第 102 号

京丹後市竹野川衛生センター基幹的設備改良工事請負契約の締結について

京丹後市竹野川衛生センター基幹的設備改良工事請負契約を下記のとおり締結するため、地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 96 条第 1 項第 5 号の規定により、議会の議決を求める。

令和 6 年 9 月 3 日提出

京丹後市長 中山 泰

記

- | | |
|----------|--|
| 1 契約の目的 | 京丹後市竹野川衛生センター基幹的設備改良工事 |
| 2 契約金額 | 2,431,000,000 円
(うち消費税及び地方消費税額 221,000,000 円) |
| 3 契約の相手方 | 住友重機械エンバイロメント株式会社大阪支店 支店長 大谷 吉幸
大阪府大阪市北区中之島 2 丁目 3 番 33 号 |
| 4 契約の方法 | 随意契約（公募型プロポーザル方式による） |
| 5 契約履行場所 | 京丹後市弥栄町和田野地内 |

提案理由

地方自治法第 96 条第 1 項第 5 号及び京丹後市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例（平成 16 年京丹後市条例第 77 号）第 2 条の規定に基づき、議会の議決に付する必要がある。

(参考資料)

1 施設概要

- (1) 処理方式 標準脱窒素処理方式
- (2) 処理能力 し尿・浄化槽汚泥 70KL／日
集落汚泥・下水汚泥 1.6m³／日

2 契約概要

- (1) 工期（至） 令和9年2月28日
- (2) 工事概要 基幹的設備の改良、更新等工事

見 積 額 末 書

議案第102号 参考資料①

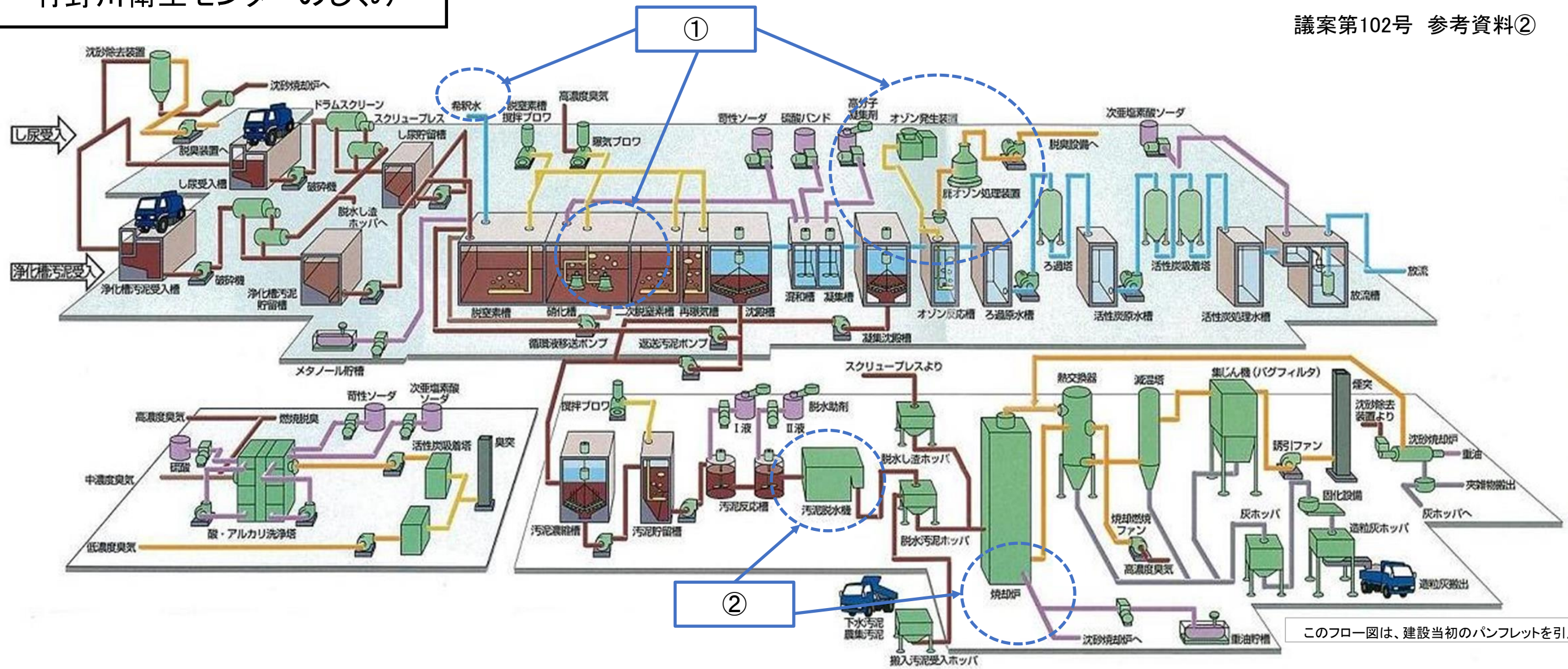
執 行 者	市民環境部生活環境課	担当課	生活環境課	工 事 概 要	要求水準書に規定する要求水準の全てを満足させる本施設工事の設計・施工(機械設備工事、土木・建築設備工事、配管設備工事、電気設備工事、監視計装制御設備工事 他)				
契 約 方 法	随意契約								
見 積 期 日	令和6年8月16日(金)								
提 出 場 所	京丹後市役所 市民環境部生活環境課								
工 事 番 号	6生環第58号			資 格 要 件	・本市の令和6年度京丹後市建設工事（清掃施設）入札参加資格者名簿への登録があること ・最新の経営事項審査の清掃施設における総合評定値（P点）が1,000点以上であること ・清掃施設工事業に係る監理技術者資格を有し、し尿処理施設または汚泥再生処理センター建設工事の経験がある技術者を配置できることなど				
工 事 種 別	清掃施設工事								
工 事 名	京丹後市竹野川衛生センター基幹的設備改良工事								
工 事 場 所	京丹後市 弥栄町和田野地内			採 用 金 額（ 税 込 み ）	2,431,000,000円	採 用 者	住友重機械エンバイロメント株式会社大阪支店		
工 期	議会の議決の日の翌日	から	令和9年2月28日	見 積 金 額	(税込み)	2,431,000,000円	予 定 価 格	(税込み)	2,486,000,000円
					(税抜き)	2,210,000,000円		(税抜き)	2,260,000,000円

見積者名称	順位	第 1 回	順位	第 2 回	摘 要
		見積金額		見積金額	
住友重機械エンバイロメント株式会社大阪支店	①	2,210,000,000			採用
以下余白					

※ 見積金額は消費税及び地方消費税抜き価格で、単位は円となります。

竹野川衛生センターのしくみ

議案第102号 参考資料②



1. 整備が必要な設備

設備名	主な整備装置(経年劣化による摩耗・損傷部分の整備)
受入貯留設備	投入口、し尿スクリーン、し尿スクリーン
主処理設備	メタノール注入ポンプ、循環移送ポンプ
高度処理設備	凝集槽攪拌機、凝集助剤自動溶解機、ろ過減水ポンプ
汚泥処理設備	脱水助剤Ⅰ液自動溶解機、汚泥第Ⅰ液反応槽攪拌機、脱水機
消毒放流設備	接触槽次亜塩素酸ソーダー注入ポンプ
脱臭処理設備	酸洗浄塔、高中濃度臭気ファン、脱臭次亜塩素酸注入ポンプ
取排水設備	除鉄・徐マンガン原水ポンプ、希釈水ポンプ、ろ布洗浄ポンプ

注1 令和5年3月 精密機能検査実施した報告書を基に整備が必要な装置

2. 処理変更の箇所

番号	課題	処理方法の変更
①	希釈水用井戸水の低下	省エネ及び希釈水(井戸水)使用量の低減を目的として、水処理工程を標準脱窒素処理方式から膜分離高負荷脱窒素処理方式へ変更する。処理方式を変更することにより、処理工程の色度除去用のオゾン発生器などが不用になるほか処理工程が簡略化し、省エネ、希釈水の低減となる。
②	下水汚泥及び内部汚泥の増加に伴う焼却炉の安定稼働	し尿・浄化槽汚泥用の内部汚泥脱水機をベルトプレス型脱水機からスクリーンプレス型脱水機に変更し汚泥の脱水効率を上げる。また、焼却炉の本体は変更することなく、現行のし尿と汚泥用専用口を利用し、下水汚泥及び内部汚泥の投入口を1箇所から2箇所に変更し、処理能力の増加を図る。